学習のポイントの解答例

1　**次の熟語を例にならって訓読し、書き下してみよう。**

(例)　**未来→未だ来らず。**

(1)　**将来**　(2)　**当然**　(3)　**未完成**　(4)　**未納金**

【答】　(1)　将に来らんとす（将レ来）

(2)　当に然るべし（当レ然）

(3)　未だ完成せず（未二完成一）

(4)　未だ納めざる金（未レ納金）／未だ金を納めず（未レ納レ金）

▼ポイント▲　再読文字を書き下す場合には、二度目の読みは平仮名にすることを徹底させたい。(4)は二通りの解釈が可能である。我々が一般的に用いている「未納金」は「まだ納めていないお金」という意味だが、「まだお金を納めていない」という解釈も可能。

2　**次の読み方に従って、白文に訓点を施してみよう。**

(1)　**応に故郷の事を知るべし。**

応　知　故　郷　事

(2)　**鄭人に且に履を買はんとする者有り。**

鄭　人　有　且　買　履　者

(3)　**盍ぞ疾を以て辞せざる。**

盍　以　疾　辞

【答】　(1)　応レ知二故郷ノ事一ヲ。〔きっと故郷のことを知っているだろう。〕（「雑詩」王維）

(2)　鄭人有二且レ買レ履ヲ者一。〔鄭の人で、履物を買おうとしている者があった。〕（「韓非子」外儲説左上編）

(3)　盍二以レ疾ヲ辞一ヲ。〔どうして病気を理由に辞退しないのか。〕（「続資治通鑑」）

▼ポイント▲　訓点を施す作業では、送り仮名をどのようにつけるのかで躓く生徒が多い。この学習では再読文字の訓読の仕方を確認するとともに、二度目に読む読み方の送り仮名をどのようにつけるかを確認したい。

（宮　利政）